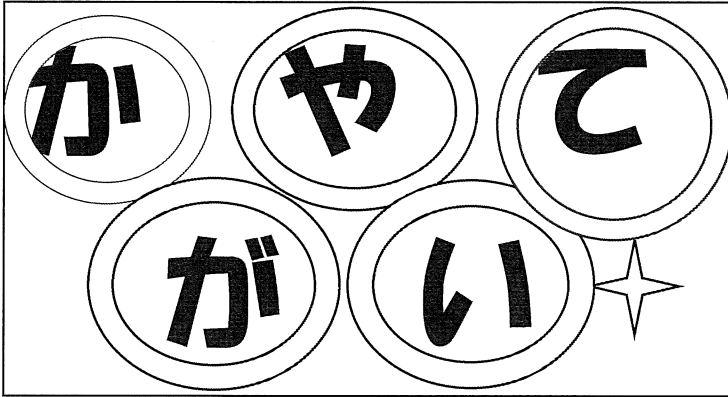




神奈川高齢者生協機関紙 2023 年 7 月号 NO.202

発行責任者 星野 宗吾

〒231-0047

横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5 階

Tel045-663-8825 Fax045-662-9662

E メール kanagawa-coop@koureikyou-k.com

神奈川高齢者生協

検索

第 18 回通常総代会を開催しました

福祉にむきあい、働く私たちの基本姿勢は何でしょうか？

「高齢者、障がい児・者の自立と社会参加にむけて、支援し、共働していくこと」と言いたいです。そういう社会の実現には、戦争で私たちの日常生活や命が奪われないことや、一人ひとりの人権が大切にされることが大前提です。

戦前の日本の軍国主義復活を思い起こさせる、昨年 2 月 24 日のロシアのウクライナへの一方的な軍事侵攻は、容認できません。敗戦によって気づかされ、新たな国づくりの礎となった日本国憲法の平和主義、基本的人権の尊重という理念実現を世界に訴え続けてまいりましょう。この理念は、国連が目標としている SDGs のゴールにもつながることです。

日本の現状に目を向けると、厚労省が今年 6 月 2 日に公表した 2022 年の人口動態統計では 1 人の女性が生涯に産むこどもの数に相当する特殊出生率は 1.26 でした。過去最低になっています。低下は 7 年連続で、新型コロナウイルスの流行などが影響したとみられています。しかし、コロナウィルスの流行のような要因よりもっと長期的な要因を考えると、未婚化や晩婚化、結婚を避ける若い世代が増加していることが大きい、と考えます。結婚や子どもとくらす結婚生活に夢と希望を持てない若者世代が広がっているのです。少子化が加速しています。加えて高齢化が同時進行しています。

国民の寿命が伸びることはありがたいことですが、寿命が伸びるほど介護が必要な高齢者は多くなります。85 歳以上の人の要介護認定率は約 6 割にのぼり、介護人材不足は大都市圏で深刻な状況です。

こうした社会情勢の中で、わが生協に期待されている役割はとても大きいのです。

冒頭で述べましたように、生協で働く私たちの基本姿勢は、若者が高齢になっても、障がいのある人も、安心して希望を持って生きていこうという明るい気持ちになれること、そして自らもそうした働きに加わっていく社会にしていこう、です。

本日の総代会では、2022 年度の事業を振り返り、修正したり、強化していくところを明らかにして、2023 年度へ向けて力強い再スタートをしていくために開かれます。

皆様のご参加に感謝いたします。わが生協の更なる発展へ向けて、一つとなって共働してまいりましょう。



理事長あいさつ(要旨)

神奈川高齢者生協 理事長

星野 宗吾

議案の概要

第1号議案 2022年度事業報告・及び決算関係書類承認の件

前年度に引き続きコロナ禍の影響が大きく、利用高・剰余高ともに予算を達成できませんでした。利用高は5.7億円と前年度を超えましたが、剰余高は△300万円と前年度を下回りました。

3月末の組合員数は2923人、3000人を切る結果となりました。脱退者のうち、みなし脱退者が132人となっています。

3月末の出資金は44,693口でした。

2022年度事業別実績及び収支 (単位千円)				
	2022実績	2022予算	前年実績	予算比差
事業収入合計	572,432	575,200	561,455	99.5
人件費	420,380	416,471	403,109	100.9
物件費	99,354	100,197	103,098	99.2
事業経費合計	519,734	516,668	506,207	100.6
福祉事業剰余金	52,698	58,532	55,248	90.0
一般管理費	58,300	55,748	49,646	104.6
福祉事業総剰余金	-5,602	2,784	5,602	-8,386
事業外収益	4,968		2,095	
事業外費用	2,316		1,870	
経常剰余金	-2,950	2,784	5,827	-5,734
税引前当期剰余金	-2,950	2,784	5,827	-5,734
法人税等	344		344	
法人税等調整額	-296		-574	
当期剰余金	-2,998	2,784	6,057	-5,782

第2号議案 2023年度事業計画・及び予算決定の件

利用高5.85億円、経常剰余300万円の予算、3,100人の組合員、49,768口の組織計画を決定しました。

訪問介護事業を主力事業としてさらに伸ばしていくこと、通所事業の経営改善、人材の確保・育成に取り組むこと等の事業計画を決定しました。

2023年度予算の概要			単位 千円
	2023予算	2022実績	前年比(差)
事業収入合計	585,286	572,432	102.2
事業経費計	523,260	519,734	100.7
福祉事業剰余金	62,026	52,698	117.7
一般管理費	58,954	58,300	101.1
福祉事業総剰余金	3,073	△5,602	8,619
事業外収支	-	2,652	
経常剰余	3,073	△2,950	5,968

採決状況

すべての議案が賛成多数で可決されました

議案		反対	保留	賛成	可否
第1号	2022年度事業報告・決算関係書類等承認の件	0	2	多数	可決
第2号	2023年度事業計画及び予算決定の件	0	1	多数	可決
第3号	役員報酬決定の件	0	2	多数	可決
第4号	議案決議効力発生の件	0	1	多数	可決

ご来賓から頂いたご挨拶(要旨)

本日は第 18 回通常総代会開催、誠におめでとうございます。

神奈川高齢者生協様には、日頃から大変お世話になっております。

東京高齢協の理事を矢吹専務理事にお願いし、同時に私ども東京高齢協の専務理事福地が神奈川高齢者生協の理事をやらせて頂いております。

このように人事交流をはかるなか、神奈川高齢者生協の貴重な取組や実践についても学ぶことができ、本当にありがとうございます。

本日、通常総代会にお招き頂いたのも、コロナ禍から通常にもどりつつある証だと思います。

私達の暮らしは、大変厳しい状況が続いており、円安、物価高、エネルギー高騰により家計支出は膨らむばかりです。

介護分野は、人手不足、人材不足が社会的な問題となっており、私達の声を国に向けて処遇改善を求めていると、介護保険制度が成り立たなくなっています。

このような中、皆さんと力を合わせて事業活動をすすめていきたいと思っています。

引き続き神奈川高齢者生協の益々のご発展とご活躍を祈念し、私の挨拶としたいと思います。



生活協同組合・東京高齢協
理事長 庭野 吉也 様

質問・意見に対する回答

総代会では発言・意見が出されませんでした。事前に議案説明動画を見た総代からの主なご質問にお答えします

第 1・2 号議案に対するご質問 (主旨)

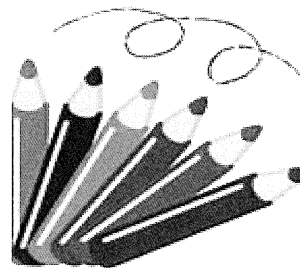
赤字対策、特に通所事業の赤字対策は？

通所部門全体で赤字が続いていると思い不安に感じている総代の皆さんもいらっしゃるようですので、この間の経過と対策について少し触れておきます。まず、通所部門全体で赤字となったのは、2013 年のデイあやとりの開設時、2017 年のデイみのりの閉鎖時、そして 2021 年度、2022 年度のたむらデイの閉鎖時の 4 回です。2021 年度だけ、開設も閉鎖もしていない年なのに赤字になっています。この 2021 年度で最も損失が多かったのは、たむら通所の△700 万円でした。これは事業所運営のまずさと職員間の人間関係の悪化による入退職の繰り返して発生した人件費・経費の膨らみと、利用高の低下によるものです。

2022 年度においてもたむら通所の赤字は改善されず、運営基準を満たす人員体制がとれない事もあいまって、閉鎖をする決断をさせていただきました。

2022 年度の赤字の最も大きな要因は、前年度から続いていたたむら通所の問題と急な閉鎖のためにかかった人件費や経費によるものです。その他の 3 つの通所事業所では、2022 年度を通して大きな赤字はでておらず、たむらデイを閉鎖する対策をとったことにより、2023 年度以降は黒字化にしていくな見通しを持っています。

総代会会場で展示・ フリーマーケットを行いました



4月号かがやいてに掲載
した「ぬり絵コンク
ール」入賞作品を展示しま
した



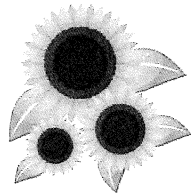
👉 相模原地区の組合員竹村さんの手作り
作品。小物入れや巾着袋などを出品して
いただきました。「作成期間はとても楽しい
時間を過ごせました！」と嬉しいお声を
いただきました。



伊勢原地区組合員片岡さんの手編みのバッグ
やポシェット、シュシュ等のアクセサリー。👉



総代会前のフリーマーケットでは、ウクライナ避難民支援のためのバックや手作りアクセサリーなどの販売も行いました。ロシア軍によるウクライナ軍事侵攻により、日本に避難してこられた避難民の受け入れ・支援ボランティアをされている横浜地区の組合員重松さんからの申し出でした。重松さんは横浜地区福祉移送サービスをご利用されている組合員の方です。4月号かがやいてで募集したフリーマーケット出品の記事をお読みにになり、ウクライナからの避難民の方が、自分たちで手作りしたアクセサリーやデザインしたバック等を販売させていただけないかとのお話でした。ささやかですが、少しでも支援の輪が広がればと出店していただきました。以下、その様子と重松さんからのお礼のメール、会計報告を掲載します。



この度は多大なご理解とご尽力を賜り、昨日の総代会会場でのフリーマーケットに参加させていただきまして誠にありがとうございました。温かいお気持ちをたくさんいただき、品切れが出るほどでした。ご来場の皆様のご理解ご支援に心より御礼申し上げます。

避難生活は先が見えず、長引いておりますが、このようにたくさんのご厚意に支えられておりますことを重ねまして感謝申し上げます。

平和な世の中になり、避難民の方々が安心して帰国できる日が早く来ることを祈りつつ、この度は本当にありがとうございました。以下は会計ご報告です。(重松)

・募金額	7066 円
・バック売上金	25000 円
・アクセサリー類売上金	21120 円
合計	53186 円

募金額+アクセサリー売上一部 20000 円をウクライナヘルソン州支援金として寄付。

バック売上+アクセサリー売上一部 33186 円を(財)オアシスにて子どもたちの教育費に充当



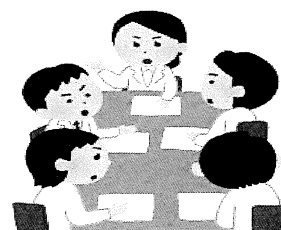
理事会たより



2023年度第1回理事会 6月18日15時27分～15時34分 会場:神奈川中小企業センター

議決事項

1. 理事長・専務理事・常任理事の互選、代表理事の選任について、下記のように決定しました。
(敬称略させて頂きました)
理事長 星野 宗吾・代表理事 専務理事 矢吹 美樹・代表理事
常任理事 岡田 伸男、岩田由美子、小池一成
2. 顧問の選任について (敬称略させて頂きました)。
桑原 龍太 吉田 隆幸 を選任し、承諾を得ました。
3. 理事長・専務理事に事故ある時の代行順序を決めました。
4. 2023年度役員報酬検討委員会の設置を決めました。



経営報告 2023年度4月の経営結果

組合員数 4月末組合員数 2,902名

4月加入数24名、同脱退数22名。計画12名に対し2名増。

出資金額 4月末出資金額 4,418万円

4月増資額60万円、同減資額10万円。計画40万円に対し50万円増の実績。

利用高 4月実績 4,370万円 予算比96.0% 前年比95.5%

経常剰余 4月実績 ▲204万円 予算差 ▲48万円

4月は利用高・経常剰余とも、予算未達成です。前年の同月より利用高・経常剰余の達成率が悪化しています。

経営報告 2023年度5月の経営結果

組合員数 5月末組合員数 2,899名

4～5月累計加入数43名、同脱退数44名。累計計画28名に対し1名減。

出資金額 5月末出資金額 4,467万円

4～5月累計増資額118万円、同減資額19万円。累計計画82万円に対し99万円増の実績。
引き続き、組合員加入、出資金の増資にご協力をお願い致します。

利用高 5月実績 4,804万円 予算比93.8% 前年比100.1%

4～5月累計実績9,176万円 予算比94.8% 前年比97.9%

経常剰余 5月実績 ▲16万円 予算差 ▲183万円

4～5月累計実績▲213万円 予算差▲223万円

4月に続き、5月も利用高・経常剰余とも、予算未達成です。前年の同月と比較し、利用高は超えましたが、剰余高は下回りました。

訪問介護事業所では、予算を大きく上回っている事業所がある一方で、予算との差異が大きくなっている事業所もあります。一つひとつの事業所が予算を達成させていくための課題を明確にし、取り組んでいくことが重要です。